

小学5年 総合的な学習の時間「私たちのSDGs」

柏市立高田小学校 森下 真大

1. 情報活用能力育成をめざす単元づくり

(1) 単元について

政府が掲げているSDGsアクションプランでは、3つの柱の一つに「SDGsの担い手としての次世代・女性のエンパワーメント」が掲げられており、学校教育現場でも、ユネスコスクール認定校を中心に、SDGs教育に力を入れる学校が増えてきた。SDGsは日本社会でも「流行」しており、SDGs教育も様々な形で進められている。年間の指導計画の中で、いろいろな教科で横断的に取り組める内容でもあり、カリキュラムマネジメントとしても有意的に進められると考える。また、本校も学校経営目標を「グローバル人材の育成」と掲げており、その具体的な取り組みの一つとして「SDGs」に取り組んでいる。

(2) 身に付けたい力

環境問題や人権問題を自分の問題としてとらえ、問題を解決するためにできることを協動的に考え、多角的な視点で調査・追究し、自分たちなりの行動計画をもとに実践活動に取り組む。

(3) 学習計画

学習のゴール：学級で取り組みたい活動を考え、行動しよう。

	時	学習内容 ○身に付けたい力
1 課題の設定	1～3	<ul style="list-style-type: none">・夏休みに個人で取り組んだ内容を紹介し発表する。・SDGsの担い手として学級でできる取り組みには何があるのかを考える。 ○個人での取り組みから、学級全体に広げて取り組める内容を考えていることができる。【創造的思考力】
2 情報の収集	4～7	<ul style="list-style-type: none">・SDGsの項目の再確認をする。・学校の中や周りのSDGsに関わる問題点を考える。・自分たちで呼びかけや行動できそうなことを考える。・実際に行動可能かどうかを確認する。 ○学校の中や周りにどのような課題があるかを考えることができ、意見の中から実際に行動が可能かどうかを考えることができる。【創造的思考力・合意形成力】
3 整理・分析	8～12 13～14 15～18	<ul style="list-style-type: none">・自分たちが取り組みたいことを各自でスライドにまとめる。・各グループでスライドの発表をする。 また、班の中でグループ代表の内容を選定する。 【グループで、代表の発表スライドをブラッシュアップする。】 <ul style="list-style-type: none">・改善した方がよいところを班で相談する。・スライドづくりの方法を再確認する。

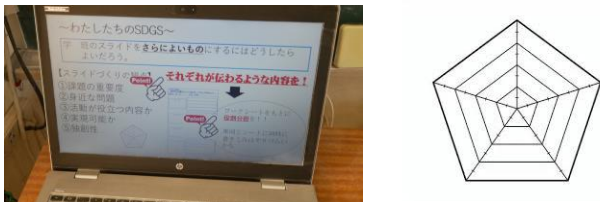
	(本時)	(NHK for school 「しまった！情報活用スキルアップ」 『プレゼンテーションをつくる』) ・スライドをブラッシュアップする。 ○プレゼンテーションソフトを活用し、自分が活動したい内容をまとめ、相手に表現することができる。【表現力】
4	まとめ・表現	19 ・学級内でグループごとにプレゼンテーション大会を行う。 ○共感を得るような内容を考え、表現することができる。【表現力】
5	振り返り改善	20 21～24 25 ・プレゼンテーション大会から学級で実行したいものを選定する。 ・決まった取り組みを実行する。 ・活動の振り返り ○お互いの意見を認め合い、よりよい物を生み出そうとすることができる。また、SDGsの担い手として意欲的に環境のために行動することができる。【合意形成力・表現力】



2. 本時について（本時 17/25時間）

(1) 本時の目標

班で必要な情報をまとめ、スライドをさらによいものにするためには何が必要かを考え、スライドに表現することができる。
(思考力・判断力・表現力等)

(2) 本時の展開

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 5分	<p>☺ 班のスライドをさらによいものにするにはどうしたらよだろう。</p> <p>1 スライドづくりの観点を再確認する。</p>  <p>①課題の重要度 ②身近な問題 ③活動が役立つ内容か ④実現可能か ⑤独創性</p> <p>【ポイント】 ①～⑤の内容が伝わるか 役割分担をきちんとすることを伝える。</p>	<p>● パワーポイントで作成した「スライドづくりの観点」をプロジェクターで映し、全体で確認した。</p> <p>● 本時のポイントを2つ提示し、この時間でやらなければいけないことや、意識することを明確にさせた。</p> <p>● ワークシートを活用してスライドの方向性や自分の分担を整理させる。</p>

<p>展開 35分</p>	<p>2 グループごとにスライドを作成する。</p> 	<p>●【タブレット】</p> <p>班で一つのスライドを共同作業で行い、よりよいスライドに仕上げていく。また、家庭学習の児童もオンラインで参加し、同じ協働作業を行った。</p>
<p>終末 5分</p>	<p>3 その都度気になったところで一斉指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参考文献や URL の引用 スライドのポイント等 	
	<p>4 まとめ・振り返り 次回の予告</p>	<p>●次回の作業を班で確認し、次につなげていく。</p>

3 実践の流れ

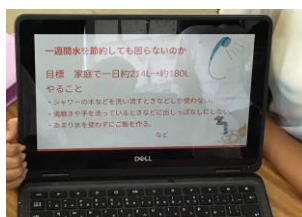
○課題の設定（1～3時間目）

夏休みの課題として個人で取り組んだSDGsの取り組みをグループで紹介しあった。

【児童からでた内容】

- ・ごみ拾い ・節水（シャワー・皿洗いなど）・プラスチックゴミの削減（マイ水筒・分別）
- ・ご飯を残さないで食べる ・マイ箸を使う など

お互いがどんな課題を見つけ行動したかを聞き合い、これからの課題設定の参考になるようにながした。これからは、学級単位でどのような取り組みができるか、また身近にどのような課題があるのかを考え取り組んでいくことを伝え、意欲を高めた。



★1人1台端末

夏休みに作成したスライドを見せ合う。

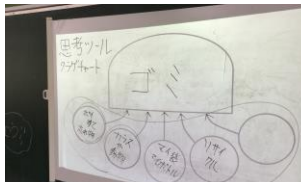
○情報の収集（4～7時間目）

学級での取り組みを考えていく上で、自分たちの身近な課題を考えた。また、身近ではないが、社会的に取り上げられている問題や課題なども考えさせ、思考の幅を広げて考えられるようにした。さらに挙げられた課題から、自分たちで取り組めそうなもの考えた。

★1人1台端末
ジャムボードで
身近な課題や取
り組みを考え意
見を出し合う。



身近な課題で多かった「ゴミ」に関する取り組みで、他の学校の活動や、企業などで行っている取り組みでどのようなものがあるか調べ学習をした。また、それ以外の課題についても調べ、取り組みそうな物のレポトリーを増やすようにした。



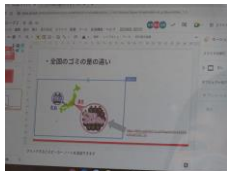
○整理・分析（8～18時間目）

各自でやりたいことを確定させ、班でのプレゼンに向けて、スライドを作成する。
班でプレゼン大会を行い、班で一つ代表のプレゼンテーションを選定する。



グループで、代表の発表スライドを共同作業し、ブラッシュアップする。

★1人1台端末
Google Slide



○まとめ・表現（19時間目）

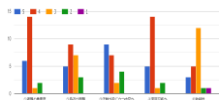
グループごとにプレゼン大会を行った。また、Formsで各グループの評価をまとめ、学級の取り組みにつなげていく。

【班で選抜された内容】

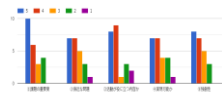
- ①ゴミでおもちゃをつくる ②ごみ拾い ③資源を守るポスター作り ④ゴミ削減ポスター作り
⑤エコキャップ集め ⑥エコバック作り ⑦ジェンダー平等を広める



エコキャップ



ジェンダー平等



○振り返り・改善（20～25時間目）

学級で取り組みたい内容について、「ごみ拾い」が選ばれた。取り組む場所については、①校内 ②通学路 ③大堀川が挙げられた。そこで3日間に分けて1時間ずつ取り組んだ。



実際に取り組みを終えた後、Formsにて学習の振り返りを行い、3学期の学習につなげた。

児童から見た成果

- ・見た目も綺麗で、自然にも優しい環境に近づいた。プレゼンテーションが上手くなった。
- ・プレゼンテーション能力が磨かれたり、世界にはゴミをポイ捨てる悪い人がいることがわかった。
- ・たくさんゴミを拾えた、SDGsのスライドを作った。
- ・SDGsについて勉強がすごくできたと思いました。

実践を終えて

身に付けたい力

環境問題や人権問題を自分の問題としてとらえ、問題を解決するためにできることを共同的に考え、多角的な視点で調査・追究し、自分たちなりの行動計画をもとに実践活動に取り組む。

→SDGsの課題をしっかりと自分のこととしてとらえ、自分達で何が取り組めるかを考えることができた。また、どの課題の重要度が高いかを考え、取り組む内容を決定し、活動できたということでは、概ね達成できたといえる。

成果

- ・年間を通して総合的な学習の時間を「SDGsの学習」にテーマをしぼり、取り組んだことによって、学習の流れや目的が明確化された。
- ・夏休みにも家庭学習で取り組み、家庭の協力も得て学習することができた。
- ・スライド作りは夏休みの宿題も含め、2回作ることができ、発表も1人で2回行うことができたので、プレゼンテーションの経験をさせるという意味でもとてもよかった。
- ・班でのプレゼンテーション作りでは、共同作業にすることで、オンラインでの参加の児童も同じように取り組めた。
- ・全体的に児童が主体的に取り組め、取り組む内容の決定や、許可、準備などを自分たちで行うことで比較的意欲的に取り組むことができた。

留意点

- ・学級で取り組みたい内容は、児童の意見だけでは偏りができてしまい、各自で調べる時間をとったり、教師が提示してあげたりすることも必要である。
- ・プレゼンテーションを行う際に、発表の仕方やスライドの見やすさだけの評価にならないように①課題の重要度 ②身近な問題 ③活動が役立つ内容か ④実現可能か ⑤独創性以上の5つの観点を設定したが⑤の独創性の観点は評価の仕方が曖昧になってしまった。
- ・班で代表のスライドをブラッシュアップさせる際には、どこをどのように変えていくか、どのようなスライドが新しく必要か、誰が何を担当するかをきちんと決めてから作業をさせた方がよかった。

児童の振り返りから

1年間を通して学習していることで、SDGsの知識を身に付けることができた。

また、SDGsの知識だけでなく、「プレゼンの仕方が上手くなった」や「クラスのみんなど協力して団結できた」などの児童の振り返りもあり、ソーシャルスキルも身に付けることが出来たと感じている。